

## 農業独立支援センター

# 新規就農者に研修修了証書

長生地域3町村で新規就農者を支援する長生農業独立支援センター協議会(会長・小高陽一長生村長)は、移住して農業を始めた2人に研修の修了証書を授与した。長生村で長ネギ栽培に取り組んでいる内條祐一さん(40)と、白子町でトマト栽培をスタートした伊藤智佳子さん(44)が長生村役場で行われた授与式に出席。小高村長が「順調に業績を上げて、独立してやっていくよう祈念します」と激励した。

## 長生と白子移住の2人へ

内條さんは市原市から移住。昨年5月から約半年の研修を受け、10月に就農し1回目の収穫を無事に済ませた。「思ったより出来が良かった。値段も高かった」と手応え。2年目は約3倍の30㌔に畑を増やす。機械の導入も必要で、まだまだ厳しい。5年目をめどに黒字にしたいと意欲をみせた。伊藤さんは1年間の研修を経て、今年7月にトマトのハウス栽培に着手したばかり。夏は苗をハウス内に定植していて、「暑さで長時間の作業ができず、工程表通りにできない」と悲鳴。「研修では言われたことをすれば良かったが、これからは責任を持ってやらないといけない」と気を引き締

めた。小高村長は「農業は基幹産業だが、高齢化で難しい時代。後継者を育てるためにも2人は大変心強い存在」と笑顔。「応援団はたくさんいるので、困ったらいつでも相談して」と呼び掛けた。同センターはJA長生と長生村、白子町、一宮町が連携して新規就農者受け入れを実施。JAが募集、研修や助成制度の手続きを支援し、町村は住居、農地などをを行い、現在までに5人が就農している。



修了証書を受け取った内條さん(左)と伊藤さん(右)。中央は小高村長。長生村役場